



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第39回合同例会 ■ 4月26日(水)

No.39

会長挨拶 ● 本山 秀樹



昨年引き続き高田・新井・高田東 RC 合同例会ですが、今日の例会をご準備いただいた新井 RC の関係者に感謝申し上げます。まだまだ雪の残る赤倉ですが、妙高山には跳ね馬の姿も見られ春が一步步進んでいるようです。

さて、ロータリークラブの創始者ポール・ハリスは、「ロータリーの魅力はロータリーで見出す友情でした。」と述べています。ポール・ハリスの晩年、ある人が彼に向かって「あなたはどのようにしてロータリークラブを考えたのですか？」と質問したところ、彼

はしばらく黙っていたが、ポツリと一言「僕は寂しかったんだよ」と答えたという話があります。今夜は、楽しい仲間たちとさらなる友情を深めたいものです。

出席報告

出席率 100.00%

ビジター

金津光雄様・長野克水様 (上越プロバスクラブ)
石原 博君 (越後春日山 RC)

幹事報告

報告：次回例会日は4月28日(金)となります。



第40回例会 ■ 4月28日(金)

会長挨拶 ● 本山 秀樹



一昨日は、高田・新井・高田東 RC 合同例会にたくさんのメンバーから出席いただき、ありがとうございました。久々にお会いした他クラブのロータリアンも多く、話が盛り上がり楽しいひと時でした。明日からゴールデンウィークが始まりますが皆さんは何連休でしょうか。明日から9連休という方もおいででしょうか。また、これを機会にお出かけの方も多と思います。楽しいゴールデンウィークをお過ごし下さい。さて、ゴールデンウィークの名称の由来をご存じですか。ゴールデンウィークの名称は、私が生まれる前の話ですが、映画会社の大映が松竹と競作して1951年に同時上映となった「自由学校」が大映創設以来最高の売上を記録し、正月映画やお盆映画以上の興行成績を残したことで、映画界の活性化のために作られた宣伝用語であり、和製英語だそうです。その後一般でも使用され他の業界にも広がったそうです。ただ、NHK や一部の民放は

ゴールデンウィークという言葉が映画業界用語だったことから、NHK で禁止されている業界の宣伝になり放送法に抵触すること、カタカナ言葉は出来る限り使わないとのことで単なる「大型連休」あるいは「春の大型連休」という表現で統一しているそうです。

出席報告

出席率 100.00%

委員会報告

出席・ニコニコ BOX 委員会

中田 正君——3クラブ合同例会を欠席し失礼いたしました。皆様のサポートご協力に感謝いたします。特に大島直前幹事に代理をお引き受けいただきありがとうございました。

幹事報告

配布物：週報No.38・ロータリーの友5月号

回覧物：高田駐屯地広報「妙高」第2号

報告：次回例会は5月12日です(5月5日…休会日)

卓話

最近の新潟県内の経済情勢について

財務省関東財務局 新潟財務事務所長 杉山 和伸様



財務事務所は何をしているのか分からない、敷居が高い等といわれます。最近では地方創生のコンシェルジュなどの肩書きもいただき、地域経済活性化のお手伝いにも力を入れています。先週はこの会場で、北陸新幹線の沿線の3県11市50機関140名の方にお集まりいただき観光振興と交流人口の拡大を目指すフォーラムを開催いたしました。キーワードは「連携」だと思っています。また糸魚川の復興フォーラムなども開催し、被災地の経済の応援もしています。今日のお話は、新潟県の経済に関してお話したいと思います。

まずは新潟県の産業の特性です。新潟県と全国の産業を比較して言える特徴は、付加価値構成比で言えば製造業と建設業の割合が高いということです。従業員構成比も同様のことが言えます。さらに製造業に限って言えば食料品製造業の構成比が高くなっています。次に都道府県の収支ですが、平成15年の調査では黒字でしたが25年の調査では赤字になっています。新潟県の収支の細目について分析してみると、金属製品や農林水産業は強みといえます。更

に対個人サービスや飲食料品が伸びているのに対し、繊維製品や商業が落ちています。

次に法人企業景気予測調査です。直近の調査では期首では景況が悪化するとの回答が多く翌期の見通は改善するとの回答が多くなっています。実は、この傾向は毎年のことで新潟県の特徴でもあります。また新潟県は景況感が低く出る傾向があります。これは経営者のマインドに左右されるところもあります。

最近の新潟県内の経済情勢ですが、「県内経済は一部に弱さがみられるものの、持ち直しが続いている。」状況です。個人消費は緩やかに持ち直しており、必要であるもの・ないものの選別がなされております。生産活動は持ち直しつつある状況です。特徴的なものとしては住宅建設ですがそれまで好調だった貸家を含め正月以降は一服感があります。公共事業は前年を上回っています。

最後に先行きですが、企業の人手不足感が重石となっておりリスクとして顕在化しております。所得環境の改善が続いていますので県内景気の改善が期待されます。

ロータリーの友4月号より その③

P36 ロータリーと歌

日本では、例会の時、ほとんどのロータリークラブで歌を歌っています。新会員の皆さまは、そのことに驚かれたかもしれません。ソングリーダーとして指揮棒を振るなど、思ってもみなかった経験をされた方もいらっしゃるかもしれません。

ロータリーでは初期のころから歌を歌っていました。さて、皆さまのクラブでは、どのような歌を歌っていますか。いわゆるロータリーソングだけではなく、童謡などを歌われているクラブも多いかもしれません。

1935年5月、京都で開催された地区大会で、かねて募集した作品の中から人選作品が発表され、今、国内のクラブでよく歌われている「奉仕の理想」と「我等の生業」は、この時に人選した4曲のうちの2曲です。

1952年、大阪で開催された地区大会では、「手に手つないで」「それでこそロータリー」が、当日発表された5曲の中に入っていました。

例会で歌う歌には決まりはありません。会員同士が声を合わせることによって生まれる連帯感、例会の雰囲気をも明るく柔らかいものにする、それが大事なのだと思います。恥ずかしがらないで、大きな声をおなかから出して、楽しく歌いましょう。